



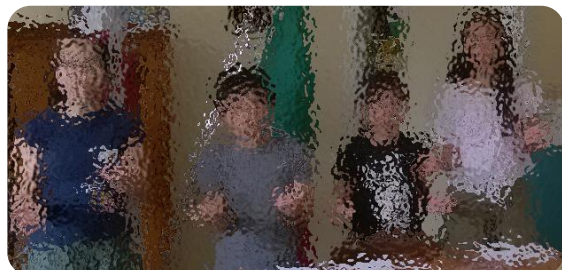
♪ 英語で輪唱しました ♪



6年生が、英語の輪唱(round)を披露してくれました。輪唱といえば、日本では「かえるの歌」が有名ですね。英語で有名なのは“Row, Row, Row Your Boat”でしょうか？今回6年生が披露してくれた輪唱は“Redwood Tree”という歌です。かわいい振り付けと共に、美しい歌声を聴かせてくれました。アメリカでは、セサミストリートでも歌われていて「小さいころに学校で歌った」という人も少なくないようです。

「こっちにおいて。」「どこに行くの？」「Redwood tree(セコイアスギ)のところだよ。」という歌詞なのですが、You(あなた)がThee(なんじ)と書かれていたり、まるでシェイクスピアが書いたような古い英語です。また、歌によっては、最後のRedwood Treeの部分がGreenwood Treeになっていたり、長い歴史の中で歌詞が少しずつ変わっていったことがわかります。400年前にイギリスのバロック音楽家が作った歌らしいのですが、歌いながら男子たちが、「この歌、ちょっと怖いね。誘拐されるみたいな気分になってくる、、、。」と言い始めました。「おいで、おいでって誘っているのは誘拐犯かも。」という男子と「セコイアスギだよ。」という女子。真相を調べてみたところ、、、400年前の歌詞が誘っている先は誘拐犯でもセコイアスギでもなく、なんと昔の絞首台(gallow tree)！日本の昔話やドイツのグリム童話も、実は怖い話が多いのですが、こういった美しい輪唱の歌でもそうなんですね。でも、こんな風にちょっと怖い背景がある歌や物語ほど、魅力的なのかもしれません。

今回の英語ニュースは、夏にぴったりの怖い話でした。しかし歌自体はやっぱりとても美しいので、ぜひ機会があれば子供たちに歌ってもらってください。



Well done!

今回も、たくさんほめて
くださった校長先生